

第 6 回 運営推進会議 報告書

施 設 名：デイサービス 連珠 出雲四絡

施 設 種 類：地域密着型通所介護

日時：令和 7 年 3 月 2 1 日

参加者：利用者代表 1 名

利用者家族 1 名

地域住民代表 1 名

出雲市高齢者福祉課 1 名

議題・内容

- 1, 事業所の方針
- 2, サービス利用状況・実績報告
- 3, 運営方針
- 4, 年間行事
- 5, ヒヤリハット報告
- 6, 今後の取り組み

1、事業所の方針

一人暮らしの高齢者が増え続けるなか、「人と人との関わり合う機会」や「自立すること」などが必要とされています。可能な限り住み慣れた土地で自分らしい生き方を少しでも長く続けていただくことが出来るよう、当施設は健康維持・回復の観点からサポートさせて頂きたいと考えております。●連珠●という施設名には“数珠の玉が連なるようにこの施設を通じてたくさんの方々が繋がって行って欲しい”という願いが込められています。人とのコミュニケーションの場を増加させることにより会話の中から笑顔が生まれ、その結果精神面からの健康維持のサポートも行っていけたらと考えております。

また連珠は同じ敷地内にはりきゅう接骨院姿勢堂があり、弊社が運営している接骨院と隣接していることから連携し易い状況にあります。連珠にも国家資格を持った柔道整復師や理学療法士を配置しておりますが、接骨院にはその他にも国家資格を持った鍼灸師やトレーナーもいることからご利用様の様々な症状に合わせてお身体のケアやアドバイスを行うことが可能となっております。運動訓練にマシントレーニングや電気療法も使用しておりますが、機能訓練士によるボディケアをしっかりと行ってまいります。

私たちの使命は健康寿命を延ばしていくことにあります。要支援・要介護に繋がる 1 番の原因は、筋肉・骨格系の運動器の疾患・障がいです。その予防やケアをしっかりと行い健康寿命を少しでも延ばしていくことに貢献したいと考えています。

2, サービス利用状況・実績報告（R7年1月31日現在）

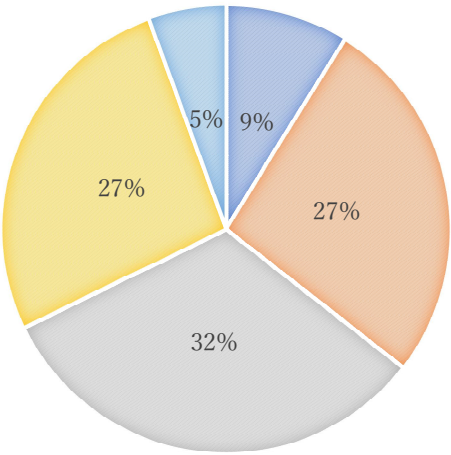
1. 利用登録人数：90名（男性19名 女性71名）

2. 介護度別人数

事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
8名	24名	29名	24名	5名	0名	0名	0名	90名

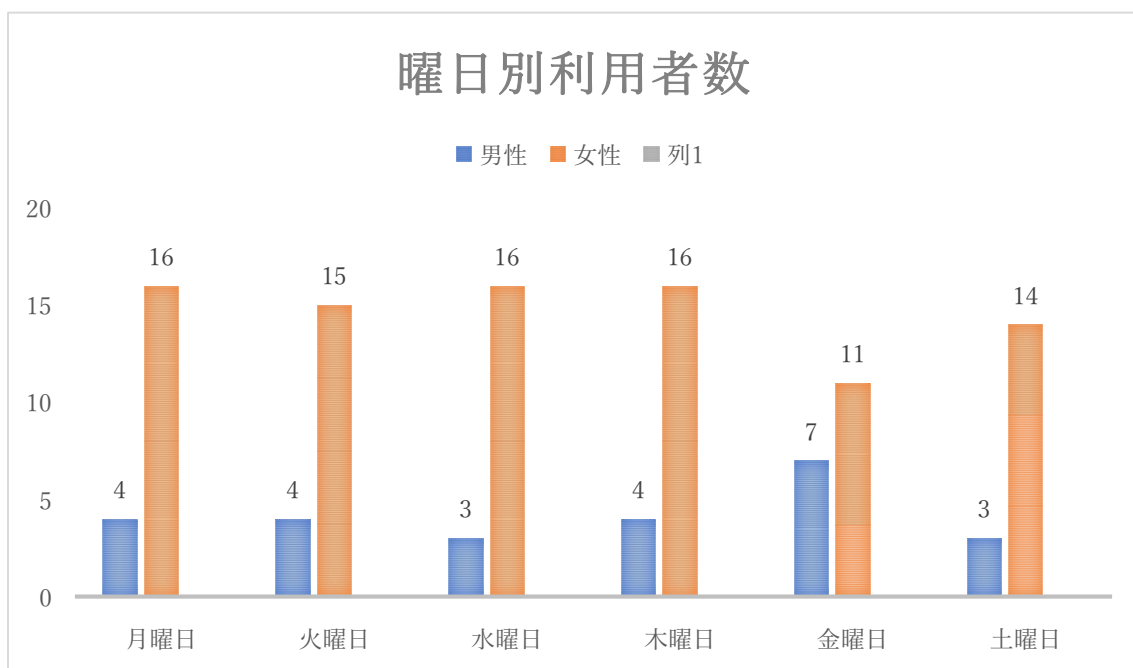
連珠ご利用の介護度別人数

■ 事業対象者 ■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2



3. 曜日別利用者数

	月	火	水	木	金	土
午前	10名	10名	9名	10名	9名	7名
午後	10名	9名	10名	10名	9名	10名



4. 地区別利用者状況

小山	7名	今市	11名	姫原	3名	大津	4名
白枝	4名	浜町	2名	神西	1名	塩冶	6名
里方	2名	荒茅	4名	古志	3名	知井宮	1名
稗原	2名	外園	2名	大社	6名	渡橋	7名
大塚	1名	松寄下町	4名	矢野	1名	江田	1名
高松	2名	荻杼	1名	武志	1名		
高岡	3名	日下町	2名	東林木	3名		
中野	3名	稲岡	2名	矢尾	1名		

3. 運営方針

利用者の方の意思及び人格を尊重し、出来るだけ長く住み慣れた環境で自立して生活が営むことができるよう、機能訓練を行い身体機能、心身機能の維持・向上をめざします。同時にその家族の方の身体的、精神的軽減にも繋がるようサポートし、関係市町村、地域の保健医療サービスの綿密な連携を図りながら、利用者の方の心身の状況や置かれている環境にも配慮して適切なサービスが行えるよう努めて参ります。

4. 年間行事

別紙参照

5. ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット 2 件

日時：令和 6 年 1 2 月 1 0 日

発生場所：ご自宅前階段

発生状況：送迎の際、送迎車から降り、階段を昇る際、足がなかなか上がらず、前方へ転倒されそうになる。

対応：送迎スタッフが後方からとっさに支え、転倒には至らなかった。

今後の対策：スロープを歩いて頂き、転倒等に注意し見守り行い、必要時は介助行う。

日時：令和 6 年 1 2 月 2 6 日

発生場所：連珠内フロア

発生状況：ペダル終了後、EMS のイスに移動される際、ペダルの器具に足が引っかかりふらつかれる。

対応：スタッフが支え、転倒には至らなかった。

今後の対策：普段からふらつきが多い為、転倒に注意し見守り、付き添い行う。

事故報告 1件

日時：令和6年12月16日

発生場所：ご自宅前道路

発生状況：ご利用者様をご自宅にお迎えにあがり、送迎車に乗って頂き発車すると、前方から対向車がきた為、道路左側へよけると、道路の側溝に送迎車の左前輪が脱輪する事故が発生した。

対応：連珠へ連絡を行い、別のスタッフが現場へ行く。近所の方々も協力してくださり車を脱出することができ、側溝や車体の傷、パンク等なくケガ人もいなかった。
協力者の方々、同乗者の方々に謝罪する。

考えられる要因：前方の確認不足。側溝にグレーチングがあると送迎職員が思い込んでいた。

出発する際の安全確認不足

今後の対策：道路状況をきちんと確認し安全運転に努める。

かもしれない運転を心がける。

6. 今後の取り組み

日常生活における転倒リスクの軽減を第一目標とした運動プログラムの立案を行い、腰部や膝関節等の慢性痛を呈しているご利用者様も多く、動作制限に繋がっていることも散見されておられ、温熱療法や筋肉調整等のリラクゼーションも多く取り入れ、円滑に動ける身体作りを目指すことで、より質の高い生活の獲得を図って参ります。

7. 利用者様・家族様等からのご意見・ご感想

ご家族様：義母が連珠にお世話になっていますが、施設についてよく知りませんでしたが、今日、運営推進会議に参加させていただき、事業所の方針、運営方針、ヒヤリハット報告今後の取り組み、その他いろいろなお話が聞けて良かったです。
義母とも連珠について沢山話が出来そうです。

ご利用者様：いろいろなことがわかって良かったです。と共に職員の皆様のご苦労もさぞかしと増々感謝の気持ちが強く感じました。